

チーム一丸歴史刻む 増田総合V



リーダージャージーを守り切り、個人総合優勝を飾った宇都宮ブリツェンの増田＝北海道内、阪本竜也さん撮影

自転車

ツール・ド・北海道

ブラーゼン

吉岡は6位

UCI(国際自転車競技連合)アジアツアーのステージレース「ツール・ド・北海道」は3日、北海道倶知安町をスタートし札幌市内にゴール地点を置く最終の第4ステージを行い、宇都宮ブリツェンの増田成幸が個人総合優勝を飾った。コースは大会史上最長の219キロ。レースは50キロ手前で形成された逃げ集団がその後も逃げ切る展開。先頭5人によるゴールスプリント対決はクララン・モートン(シエリーベリ)が制した。那須ブラーゼンの吉岡直哉は5位に入り、個人総合6位。

ツツエンの増田成幸が個人総合優勝を飾った。コースは大会史上最長の219キロ。レースは50キロ手前で形成された逃げ集団がその後も逃げ切る展開。先頭5人によるゴールスプリント対決はクララン・モートン(シエリーベリ)が制した。那須ブラーゼンの吉岡直哉は5位に入り、個人総合6位。

アの増田と27秒差で追う2位選手が同じ集団でゴール。増田はこのレース19位に終わったが、個人総合首位を守りきった。UCIステージレースの個人総合優勝はチーム初。増田は山岳賞総合でも頂点。団体総合は6位だった。

大久保陣(宇都宮ブリツェン)、下島将輝(那須ブラーゼン)以上途中棄権
 ▽個人総合順位 ①増田成幸(宇都宮ブリツェン)12時間50分23秒②デズカリ・ピエールパオロ(NIPPOワイニ・ファンティニ)12時間50分50秒③ガルスシア・アンブロー・リカルド(キナン)12時間50分50秒④吉岡直哉(那須ブラーゼン)12時間50分53秒⑤鈴木謙(宇都宮ブリツェン)12時間51分3秒⑥高木三三三(那須ブラーゼン)13時間2分39秒⑦堀孝明(宇都宮ブリツェン)13時間6分56秒
 ▽チーム順位 ①プリチストンアンカー16時間42分20秒②チーム右京16時間42分54秒③ウエロクラブ・メンドリシオ16時間42分54秒④宇都宮ブリツェン16時間32分30秒
 那須ブラーゼン順位なし
 ▽チーム総合 ①プリチストンアンカー38時間39分38秒②ウエロクラブ・メンドリシオ38時間39分43秒③キナン38時間42分1秒④宇都宮ブリツェン38時間48分25秒

世界へ、踏み続けるペダル

「とにかく最高。仲間やスタッフが身を削って戦ってくれたおかげ」。口を開けば感謝の言葉ばかりが飛び出す。レース後のインタビューで思わず自頭を熱くした。

大会1日目の第2ス

ハイライト

ステージで約50キロに及ぶ逃げが成功し追走集団に42秒の大差をつけた。2日目の第3ステージではリードを締められ、献身的にレースをコントロールし続けた阿部高之が力尽きた。「泣いても笑って

も最後。阿部の分まで走りきろうと誓った。個人の力とチームの力、戦略スキルが悲願を引き寄せた。個人総合順位は30人

集中。我慢比べへの時間だった。大会史上最長の219キロも残り10キロでメイン集団は30人に。メイン集団を引いた大久保陣は下がり、鈴木謙が終盤の激しい登りに耐え最後まで増田のそばで踏み続け

た。他チームからのプレッシャーも「楽しめた」と増田。恐れるものは何もなかった。今回の勝利はブリツェンが世界に通じる完成されたチームであることを証明した。次戦は11日、地元栃木でJPT第16戦に臨む。世界に挑む彼らの挑戦は終わらない。(三谷千春)